令和3年度　事業所向け　放課後等デイサービス評価表 集計結果

公表日:　令和３年 １２月 ３０日　　アフタースクール クローバーキッズ学芸大学

配布:職員　7 名

事業所番号: 1351000243

有効回答:職員　7 名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が(子どもの過ごす)指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%	0%	0%	法令遵守したスペースに加え、運動療育などができる広いスペースを用意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	57%	43%	0%	0%	児童指導員を加配し、利用児童の特性や必要に応じた個別サポートができるシフトになるように心がけています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%	利用児童の身体の状態で必要なバリアフリーは達成できています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	0%	毎日職員のミーティングにおいて、それぞれの児童の振り返りを行い、今後の支援の目標や手立てについて検討を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	保護者向けの事業所アンケートを実施し、ご意見をもとに業務の見直しや改善を行なっています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	0%	当社ホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	第三者評価の実施について検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	0%	社内研修の実施及び、外部研修情報を社内情報システムで共有し、積極的な受講を推奨しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	0%	定期的にアセスメントを行い、保護者との対話の中で、療育的なニーズを共有し、個別支援計画に反映するようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	0%	職員研修により、アセスメントについて共有ができるようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	0%	各職員の得意分野を生かし、アイデアを持ち寄り協力してプログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	0%	利用児童の興味や特性に合わせたプログラムや、季節感などを取り入れたプログラムを企画しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	0%	休日には、お買い物トレーニングや外出レク、お菓子作りなどのプログラムを取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	0%	１日の過ごしの中で、集団活動と個別活動を適宜組み合わせるプログラムを用意しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	0%	利用時間の前後にそれぞれ会議を行い、プログラムや、利用児童の支援について情報共有と振り返りを行なっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	0%	支援終了後の振り返りは、児童一人一人について振り返りシートを活用して職員間で情報共有や気づきの共有を行なっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	児童一人一人について振り返り記録を利用毎に行ない、指導の検証・改善と職員のスキルアップに役立てています。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	0%	個別支援計画期間に応じてモニタリングを行い、新たな個別支援計画の立案に活かしています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	将来の自立支援のための総合サポート型の事業所として「運動」「コミュニケーション」「学習」を軸にカリキュラムを用意しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	0%	児童発達支援管理責任者もしくは、教室長が参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に	100%	0%	0%	0%	学校へのお迎え時に、必要な情報共有を行なっています。コロナの状況も見ながら、学校行事の参観などにも参加するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	57%	0%	0%	該当する児童の利用は、現在のところありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	43%	57%	0%	0%	継続した支援のため、できる限り情報共有を行うようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86%	14%	0%	0%	必要に応じた情報共有に努め、利用終了後の療育環境が良くなるように努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	71%	29%	0%	0%	事業所見学をしていただき、情報共有を図るとともに、助言は積極的に支援計画に活かすようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	86%	0%	14%	0%	コロナ禍で外部児童との交流は慎重に行なってまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	29%	71%	0%	0%	目黒区障害者自立支援協議会主催の会には積極的に参加をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	0%	連絡帳では、日々の取り組みをお伝えするだけでなく、それぞれの児童の「きらり」を共有し、自尊感情を高めながら、課題について共有を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	71%	14%	14%	0%	事業所での様子や、見立て・手立てを共有することにより、一貫した関わりを持てるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	0%	契約の際及び、法改正などのタイミングで適切な説明を行うようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	86%	14%	0%	0%	お迎えの際や個別面談などで保護者からの相談を受け、必要な助言を行うようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	43%	43%	14%	0%	コロナ禍であり、連携については慎重に考えて進めていきます。お迎えの際には、保護者同士で情報交換ができるようにしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	86%	14%	0%	0%	苦情対応窓口を用意し、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%	毎月、翌月のプログラムについて共有するとともに、ブログで療育の狙いについて案内を行うようにしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	個人情報は、鍵付きのキャビネットに保管するなど個人情報の保護を行います。療育の情報共有も参加者限定のSlackグループで行うようにしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	0%	個々の事情や特性に応じた情報伝達に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	29%	57%	14%	0%	コロナ禍のため、実施を控えております。 地域との交流は本来積極的に進めたいと考えております。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	86%	14%	0%	0%	緊急時対応マニュアルなどを整備し、非常時の対応を行えるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	0%	年に２回の訓練を行なっています。

	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86%	14%	0%	0%	マニュアルを整備し、職員にはチェックリストを実施しております。
非常時の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	0%	マニュアルを整備し、研修等により職員に周知しています。保護者に対しては契約時に説明を行い、必要に応じて個別支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	0%	利用児童のアレルギーの一覧表を作成し、おやつ等の際にチェックを行うようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	0%	ヒヤリハット事例については、当日中に報告書を作成し、再発防止に活かしています。